

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

輝く笑顔 二東生

＜本年度の学力向上策＞

(1) 『授業の約束4ヶ条』 の実践

- ①全員がチャイムで始められるようにしよう
- ②授業の用意・挨拶・服装・姿勢をしっかりしよう
- ③私語をつつしみ、落ち着いて学べる場にしよう
- ④積極的に手を挙げて発言し、課題に取り組もう

(2) 学校課題研修の実施

①研究組織・研究主題の確認

研究推進委員会、分科会、各学年からも研修担当を選出する。
年度当初に研究主題について確認

②よい授業 4つの因子についての理解

早い時期に、講師を招いて理論と実践について研修会を行う。

③夏季研修会

6月に実施するアンケート等をもとに、生徒の実態や研究課題を確認し、より効果的な指導について検討する。

④研究授業の実践

各教科ごとに設定した課題を解決するために、授業研究を行い、その後行われる研究協議を共有することで実践力を養う。課題や指導方法の工夫についても意識を高め、PDCAに基づいた授業改善を推進していく。

⑤学力向上カウンセリング、講演

学力向上カウンセリングの講演をもとに、各教科の課題の修正等を行う。

(3) 調査

①生徒の実態の把握

6月・12月に授業に関するアンケートを行い、「よい授業」集計システムを活用し、実態を把握し、今後の研修課題、及び検証に役立てる。また、全国・さいたま市の各学習状況調査等からも、生徒の実態を把握する。

②生徒観察、小テスト・定期テスト等から生徒の変容の様子を把握する。

(4) 家庭・地域と連携した学習環境の確立

①各教科から学習案内(シラバス)を作成し、活用する。

②チャレンジスクールを積極的に活用できるように周知徹底する。

＜本年度の振り返り＞

『授業の約束4ヶ条』は、全学年で実施されており、落ち着いた環境の中で授業が展開されている。また、学校課題研修においても、全教科でアクティブラーニング型授業に取り組み、研究授業も行った。各教科から出されるシラバスをより有効に活用し、さらに充実した教育活動が行えるよう、ICTなどを取り入れた研修に取り組みたい。

